

会議名	第3回港にぎわい公園づくり推進計画及び整備マニュアル策定支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和8年3月26日（木曜日）午後1時30分から午後4時00分まで
開催場所	港区役所9階研修室
委員	<p>&lt;出席者&gt;</p> <p>横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 客員教授 町田 誠（委員長）</p> <p>港区街づくり支援部長 富田慎二（副委員長）</p> <p>東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授 荒井歩（委員）</p> <p>日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授 押田佳子（委員）</p> <p>港区麻布地区総合支所まちづくり課長 江川智美（委員）</p> <p>&lt;欠席者&gt; なし</p>
事務局	街づくり支援部土木課土木計画係
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 第2次審査実施概要について</p> <p>3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施</p> <p>4 第2次審査結果及び事業候補者の選定について</p> <p>5 閉会</p>
配付資料	<p>[席上配付]</p> <p>次第</p> <p>資料1 第2次審査実施概要</p> <p>資料2 第2次審査採点基準表</p> <p>資料3 第1次審査・第2次審査集計結果（※採点終了後、配布）</p> <p>資料4 第2回選考委員会議事録</p> <p>参考資料1 第1次審査集計結果</p> <p>参考資料2 募集要項</p> <p>参考資料3 仕様書</p> <p>参考資料4 事業候補者選考基準</p> <p>参考資料5 事業者提案書</p>
会議の内容	
【1 開会】	
【2 第2次審査実施概要について】	
事務局	（事務局より資料1について説明）
【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】	
	（A事業者入室、プレゼンテーション）
A委員	新たに検討すべき施策では、上位計画等は良く整理されているが、どこの自

	治体でも当てはまる内容になっている。現時点で、港区での提案はあるか。
A事業者	インクルーシブや公園 DX、グリーンインフラなどは、どこにでも当てはまる視点であるが、実際に実行されている事例はあまり聞かず、港区では、積極的に取り組んでほしいと思っている。 また、港区は、外国人やビジネス街が多いなどの特徴があり、それらの人口動態に合わせた先進的な取組みができれば良いと思っているが、今後検討していきたい。
A委員	整備マニュアル策定について、港区は指定管理者制度を導入しており、これまで指定管理者が積み上げていること、課題に思っていることがあると思う。それらを、どのように汲み取って、反映していくか。
A事業者	指定管理者等とのワーキングが10回設定されており、そこで課題を吸い上げたい。その中で、地区ごとに異なる課題や共通の課題が出ると思うので、共通の課題は、港区全体の計画に反映し、地区特有の課題は地域別方針に反映していく。
A委員	整備マニュアルの中でシートが提案されているが、このシートの内容は例であって、構成は検討の中で変わってくるという認識で良いか。
A事業者	シートは例で、ワーキング等を実施する中で、変えていく予定。
B委員	意見収集の方法として、ワークショップの実施を1回提案されているが、多様な方々がいる中で、意見を1回でどの程度汲み取れると想定しているか。対象や実施方法等に具体的な提案はあるか。
A事業者	ワークショップは、回数を重ねることになると思うが、ワークショップの導入部分でテーマを決めず、参加者に自由に意見を吐き出してもらい、その中から、次のワークショップのテーマを決めていくというような工夫をしながら進めていきたい。
B委員	2回目以降のワークショップの実施もあり得るという想定か。
A事業者	はい。複数回の開催も想定しているが、時間的な余裕がないので少なくとも1回は実施し、業務の中で続けて実施するかも含めて検討したい。
B委員	整備マニュアルについて、公園タイプの分類について提案されている。港区は、近年、人口増加しているが、小規模な公園も多くある。具体的に、タイプ分けをどう提案していくか、方針があれば教えてほしい。
A事業者	現行計画では公園タイプを5つに設定しているが、現況評価や地域特性の分析により、見直し・アップデートが必要であると考えている。 現況評価の中で、立地分析をしながら、どのような公園が必要か検討したい。立地分析により判明したエリア特性に合わせて、再配置や利用タイプも検討したい。
C委員	新たに検討すべき施策の視点として、公民連携、区民参加の視点があげられているが、区としても、みんなで作る公園をつくるという方針で区民参加を進め

	ていきたい。公民連携として Park-PFI が提案されているが、区民参加について、港区で取り組むとしたら、どのようなものが考えられるか。
A事業者	具体的な想定はできていないが、方法としては、公園管理に関係している民間事業者との協働で区民参加を促すこと、また、ワークショップで地域醸成しながら施策を進めていくことを考えている。
C委員	整備マニュアルの中で、部分改修と記載があるが、例えば公園内の一部の遊具について、詳細な提案をするのか。
A事業者	整備マニュアルは、公園毎に提案したいと思っている。具体の遊具等の施設提案までは時間的に難しいが、改修の方向性までは提案していきたい。
D委員	技術者を推進計画と整備マニュアルの2チームに分け、常時連携しながら業務に取り組むという提案であるが、どのように常時連携させ、動かしていくのか。
A事業者	12名が常時動けるよう配置している。また、サポート体制として、公園のハード面を専門としている部署の配置も考えている。チームは分けているが、常時、情報共有しながら進めていく。また、連絡体制として、共通アドレスを発行し、情報を常に共有していく。
D委員	各公園等の立地特性の分析として、人流データを例としてあげているが、その他の視点でどのように分析をするのか一例を教えてください。
A事業者	防災の観点から、浸水想定やハザードマップなど、また、人流データも昼間人口や来園者の属性など詳細な分析をし、評価していく。
E委員	一般的な基礎自治体の公園と比較して、東京都特別区の公園の特性について考えを教えてください。
A事業者	他区の公園に携わったことがあるが、特別区の公園と地方都市の公園では変わらない印象を持っている。実際に現場を見ると、トイレがきれいではないなどの共通する課題がある。タイプは異なるが、特別違いがあるとは感じていない。 ただ、港区は23区の中でも国際性が豊かな場所であり、外国人居住者も多い。その点から、多言語表記などは、港区では特に配慮が必要と考える。
E委員	にぎわいがある公園とは、どういう公園と考えるか、具体的に考えを教えてください。
A事業者	担い手が育っていく機能が地域にあるという点が、持続的なにぎわい創出に繋がると考える。担い手がいないと、施設整備だけで終わってしまうので、地域が一体となって取り組んでいく姿勢がにぎわいづくりの大きなポイントであると考えている。
E委員	担い手は地域ということだが、地域の方々に担い手になってもらいたいということか。
A事業者	まずは、地域の方々に担い手になっていただき、その上で、港区の場合は、

	様々な団体や事業者も多くいるので、巻き込みながら仕組みづくりをすることが必要であると思う。
—	(A事業者退室、採点)
—	(B事業者入室、プレゼンテーション)
A委員	公園を使いこなすというキーワードがとても良いと感じた。その上で、ルールとマナーの整理は重要な観点であると思う。 使いこなすためには、利用者の意識も変化させる必要があり、非常に難しいテーマであるが、ルールとマナーの整理で、具体的な考えがあれば教えてほしい。
B事業者	ルールの基本は条例になるが、条例は管理者視点で、公園の公開性・公平性を維持するためのルールが記載されている。利用者視点では、他者に迷惑をかけないという観点で港区はルールを運用しているが、具体的に禁止することと、お互いに配慮しながらできることのラインを明確にする必要がある。そのためには、他自治体の事例やこれまでの苦情を分析し、整理することが必要であると思う。
A委員	区、指定管理者の業務効率化につながるデータ化、デジタル技術の導入を提案しているが、具体的にどのように検討するのか教えてほしい。
B事業者	現場の声無くしてDXを進めても使えないものができる。データとしては、区職員が把握し、整理しているものと指定管理者が独自で蓄積しているものがあるので、それらを整理するとともに、何がデジタル化されていると日々の業務が効率化するのか、ワーキングを通じて把握し、検討に活かしていきたい。
A委員	ワーキングはどのように実施していくか。
B事業者	ワーキングは、各支所の区職員と指定管理者に対して実施する。指定管理者から区に言いづらいこともあると思うので、まずは別々に実施し、共同で話した方が良いテーマは共同で話すなど、柔軟な運営をしたい。
B委員	データを見直すとあったが、膨大で多様な公園がある中で、港区の公園等の整理を数か月で実施するスケジュールの提案となっている。実現性がどの程度あるのか、どのような作業を想定しているか教えてほしい。
B事業者	議論に入る前の第2四半期頃までに、これまで実施してきたことと利用実態調査結果も併せて、成果を上げている公園や課題を整理する。 整備マニュアルや配置計画の検討には、さらに深く分析が必要である。現状のニーズは利用実態調査結果から分析できる。これからのニーズについては、公園周辺が今後どうなっていくのか、人口構成、土地利用を踏まえて、今のまま継続すれば良いか、今後、周辺に合わせて見直す必要があるか、もしくは現時点で周辺の利用者層や環境と合っていないかなどをはっきりさせ、どのようにレベルアップしていくかを整備マニュアル検討の中で並行し

	て深めていきたい。
B委員	公園タイプ設定の見直しを提案しているが、どのような利用タイプを想定しているか。
B事業者	日常利用の公園、オフィスワーカーが憩う場所としての公園、自然や歴史など特徴的な資源を有した公園と3つのタイプがベースになると思う。これらの3つを柱にして、業務の中で利用者に確認する公園の使い方を取り入れ、細分化していくことを考えている。
C委員	2段階で機能・利用タイプを整理する提案だが、2段階にするメリットや意図を教えてほしい。
B事業者	利用タイプは、利用者が利用する施設で分けられているが、公園には存在効用として、環境改善や防災・減災など重要な機能がある。これらの公園が共通して担う基礎的な機能は、利用とは別軸で考える必要がある。施策とのつながりをわかりやすくすることもできる。
C委員	新たな取組みを試行し、実験的な利用を検討するとあるが、他自治体の事例も含めて、港区の特性を踏まえて、提案があれば教えてほしい。
B事業者	発信力がある地域のため、アートや環境・エコなどは考えられる。環境関連の事業者にヒアリングをすると、特に都心では、社会貢献できるフィールドを探している事業者は多いので、連携しても良いと思う。埼玉県戸田市では、利用者のやってみたいことを実現するサポートとして、アイデアを募集、選定し、実現するという取り組みをしていた。このように、何ができるかをみんなで考え、形にするという、実体験を作る取組はやってみても良いと思う。
D委員	オープン型意見聴取の具体的な運営方法を教えてほしい。
B事業者	公園にメッセージボードを設置し、近所の公園で何がしたいかを自由に書き込み、ボードに貼ってもらう方法を考えている。実施のタイミングとしては、公園イベントの実施日や地域で催しがある日に併せて実施することを想定している。
D委員	AIで意見分析をする提案をしているが、どのように分析するのか教えてほしい。
B事業者	自由意見をデータ化して、グリーピングし、ニーズを分析していく。また、ワードの関連性の可視化も可能なため、内容を見ながら適切な整理方法を選択したい。
D委員	拠点性の定義の見直しと再評価について、現時点で考えていることがあれば教えてほしい。
B事業者	現行計画では、規模があり、多機能でまちづくり機能を担える公園を拠点として設定している。拠点と位置付ける公園の定義を整理したい。港区は、5地区に分かれて管理しており、職員も港区全体ではなく、地区ごとに見てい

	<p>る部分がある。有栖川宮記念公園は誰が見ても港区の顔になる公園であるが、管理者は地区住民が利用する公園と認識していると部分がある。拠点公園の中でも、港区の顔になる公園と地区の顔となる公園でレイヤ分けをしたほうが良いと思う。これは、配置計画だけではなく、区として投資に重点を置く公園の選定にも繋がるので、誰もが納得できる明確な条件を整理していきたい。</p>
E委員	<p>区を代表する公園として有栖川宮記念公園が出たが、他には想定があるか。</p>
B事業者	<p>異論がないのは、有栖川宮記念公園と区立芝公園であると思う。 赤坂地区の都立も含めた青山公園や高橋是清翁記念公園、高輪地区の高輪公園、芝浦港南地区の港南緑水公園などは地区を代表する公園か区を代表する公園のどちらになるか精査は必要である。</p>
E委員	<p>地区ごとに1公園、計5公園選定するという事か。</p>
B事業者	<p>地域性などに応じて1地区に複数公園なども含めて、きめ細やかに検討する必要はある。</p>
E委員	<p>公園の機能分担とともに、連携という記載があるが、どのようなことが考えられるか。</p>
B事業者	<p>基本は機能分担を想定している。他の自治体では、近くの公園を案内するサインを設置し、回遊を促したり、利用者の目的に合わせて公園を選択できる工夫をしている。そのような、公園同士の連携の工夫はあっても良いと思う。</p>
E委員	<p>今回は、東京都特別区の仕事となるが、一般的な基礎自治体の仕事と比較して、質的な違いがあると思うか。</p>
B事業者	<p>特別区であり、都心であるという点で、他自治体からの注目もある。計画を改定するからには、目玉となる新たな施策は打ち出したいという思いはある。 また、区民、利用者に寄り添うことが第一であるが、企業が多く集積しているので、企業との連携という観点では、もう少し踏み込んでも良いと思っている。</p>
	<p>(B事業者退室、採点)</p>
<p>【4 第2次審査結果及び事業候補者の選定について】</p>	
事務局	<p>(事務局より資料3について説明)</p>
委員長	<p>各委員は、評価に当たっての視点を説明してください。</p>
A委員	<p>A者はワークショップが上手く進行できなかった場合、GIS解析のみでは、どこにでもある計画になってしまう印象があり、評価は低めとなった。全体的に港区の業務をお願いするという点で決め手が見出せなかった。 B者は、論点が絞られており、さらにこれまでの計画の積み重ねにプラスしたものを作っていくという点が読み取れた。これは、計画としては重要な部</p>

	分であると思う。拠点公園の考え方についても、発展的で面白い視点を持っていると感じたので、高く評価した。
B委員	<p>A者は、港区だからという点が見出せなかった。ワークショップについても質問したが、多様なステークホルダーに対する対応の回答が明確に得られなかった点が気になっており、評価は低くした。回答の中でも、港区ならではの独自性について、明確な回答が得られず、これから検討するという回答が多かった点を懸念に感じた。</p> <p>B者は、プレゼンテーションの密度の濃さはそこまで感じなかったが、質問への回答が港区の特徴を捉えようとしている姿勢が良く見られ、良いものができるのではないかと期待を込め評価した。スケジュールの部分で、多様で濃い密度の検討がどこまでできるのかは気になった部分であるので、B者を選考する場合は、事務局でしっかりと調整してほしい。</p>
C委員	<p>A者は、表面的な回答が多いと感じた。業務体制は固く、履行は可能かもしれないが、現時点で、港区でこういう提案がしたいという意気込みがみえなかった。</p> <p>一方、B者は、港区の公園をこうしたいという強い思いを感じた点と、公園のみではなく、公園を取り巻く事業者、指定管理者、区の内部体制まで熟知しており、体制は弱いかもしれないが、効率的に進められるのではという点で評価をした。</p>
D委員	<p>A者は、現行計画の理解不足を感じ、さらに港区の特性や港区らしい施策について具体的な回答が得られず、発展性がないと感じた。</p> <p>B者は、区民目線で進めていくという姿勢が見えて良かった。再配置についても具体的な定義をもって、評価していくという、次の段階が見えた。回答が業務の主たる担当者からのみで、2年間、計画と整備マニュアルを同時進行する際に、体制が十分に確保できるかを不安に感じたので、その部分は厳しく採点したので、B者が選定された場合は、事務局でリードするようお願いしたい。</p>
E委員	<p>資料の作り方やヒアリングへの望み方など、全てにおいて対照的な事業者であった。</p> <p>B者の方が、区の実態の分析ができており、比較するに及ばずという感想であった。それに比べて、A者は、港区の特徴や実態を十分に把握できているとは感じられなかった。</p>
委員長	各委員からの講評を踏まえ、採点を修正したい委員はいるか。修正がない場合は、総合得点の最も高いB事業者を事業候補者として選定するが、良いか。
委員一同	(異議なし)
委員長	それでは、B事業者を事業候補者として選定する。
【5 閉会】	

事務局	(委員長より閉会の挨拶)
-----	--------------